

観世流シテ方楽師



まつき ちとし
松木 千俊

重要無形文化財総合指定保持者

- 一般社団法人「松の会」代表理事
- 公益社団法人「能楽協会」所属
- 一般社団法人「日本能楽会」所属
- 一般社団法人「観世会」理事
- 長野県坂城町特命大使

経歴

東京藝術大学 邦楽科卒業

1962年（昭和37年）観世流能楽師シテ方松木家3代目として誕生。

三歳で初舞台。

平成元年独立後、「石橋」「道成寺」「安宅」「卒都婆小町」「翁」「正尊」など披曲。

「檀の会」「松能会」「松謳会」を主催。能楽師として、能楽特有の「幽玄な世界」や「物語」を自身の生き方として捉え、各種舞台を勤める傍ら、一般社団法人松の会代表として能楽の普及活動に力を入れている。「身近に能楽を観る・聞く・識る」という能楽のワークショップを各地で開催。

一般社団法人松の会の活動について

能楽の普及に関する事業

能楽教室をはじめ、様々な日本の伝統文化の発信など、老若男女・年齢・人種・国籍に関わらず、次世代へと伝統文化を継承させていくことを活動の主軸としている。

維持管理・活用に関する事業

「受け継いだものを次の世代に」数百年前から継承されてきた能面や装束・能舞台を守り、様々な方にその美しさに触れてもらえるよう維持管理等の活動をしている。

活動の詳細については下記HPよりご覧ください。

一般社団法人
「松の会」HP



能楽文化の普及と伝承

子どもたちに向けた普及活動

約700年続く世界に誇る日本の古典芸術である「能楽」を後世へと繋ぐ活動として、小中学校や幼稚園等での能楽体験教室や各地で身近な能楽教室を実施。

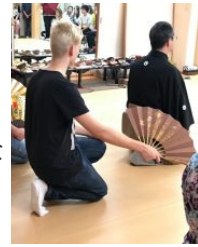


これまで約140校、14000名が参加している。（2024年時点）

次世代を担う子どもたちに向け、「日本人としてのアイデンティティー」や「日本人としての誇り」を持つことの大切さを、古くから受け継がれてきた能楽を通して伝えている。

外国人に向けた普及活動

インターナショナルスクールや留学生に向けたワークショップを開催。能の本来の目的である鎮魂歌としての役割や、「平和な世界を願う」という思いを伝えている。



能楽ワンコイン講座



東京都新橋・練馬、千葉県船橋・印西の4カ所で毎月テーマを変え開催。

能楽文化をわかりやすく解説している。

資料代ワンコイン（¥500）で誰でも気軽に参加できる講座。

毎年約1000名ほどが参加している。

各種舞台公演を主催

檀の会（まゆみのかい）について

昭和62年に父・千冬が発足し、毎年主催している会。

「安宅（あたか）」「卒都婆小町（そとわかまち）」を披く。

令和7年第37回にて「正尊（しょうぞん）」を披く。

松能会（まつのかい）について

若手能楽師育成という観点から発足し、各種体験、装束付けなど、

様々なワークショップや、特別公演としても開催している。

第17回では「道成寺（どうじょうじ）-赤頭-」を勤める。



檀の会「大般若」



松能会「道成寺」



松能会「装束付け」

各種能舞台公演

観世会定期能・荒磯GINZA能・花影会・朋之会 坂城薪能・大山薪能・佐渡蠟燭能・千俊の会 など数多くの舞台公演に参加。



花影会「翁」